

# 平成28年度職員満足度調査（全市版集計結果）

## 1. 調査概要

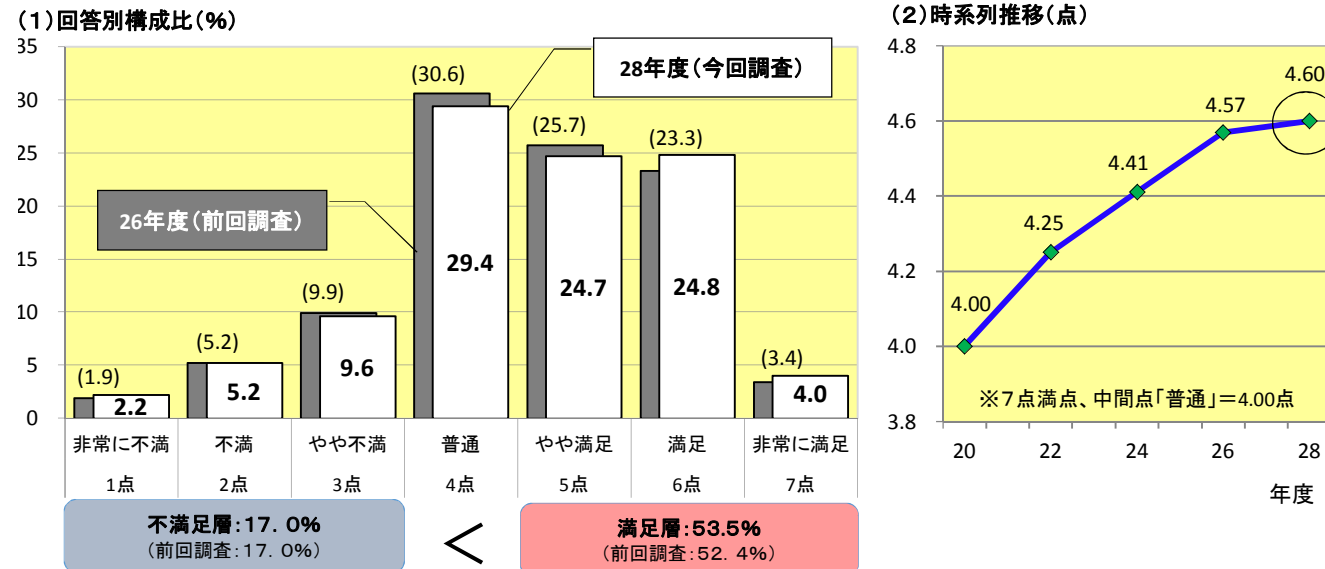
- 調査期間：平成28年7月15日～8月12日
- 調査対象：再任用職員・嘱託員を含む全職員 23,550名 [前回調査(平成26年度)：22,925名]  
※企業局(水道局・交通局・医療局病院経営本部)職員及び市立学校の教職員を除く。
- 回答者数：21,069名 [前回調査(平成26年度)：20,207名]
- 回答率：89.5% [前回調査(平成26年度)：88.1%]

## 2. 総合満足度

■ 結果概要	7点満点中 4.60点(中間点:4.00点)となり、前回調査(平成26年度 4.57点)と比較し0.03点のプラスとなっている。
■ 回答別構成比	回答別構成比をみると、満足層は53.5%と前回調査(52.4%)より1.1ポイント増加した。今回調査では、非常に満足が4.0%(前回3.4%)、満足が24.8%(23.3%)に増えたことで、全体の数字が押し上げられた。一方、不満足層は17.0%と前回調査(17.0%)と同じ比率であった。
■ 時系列推移	時系列でみると、平成20年度に現行の調査を開始して以降、4回連続で上昇し、過去最高となっている。

図表1. 総合満足度

Q01.あなたは総合的に考えて、現在の仕事・職場・横浜市役所にどの程度満足していますか



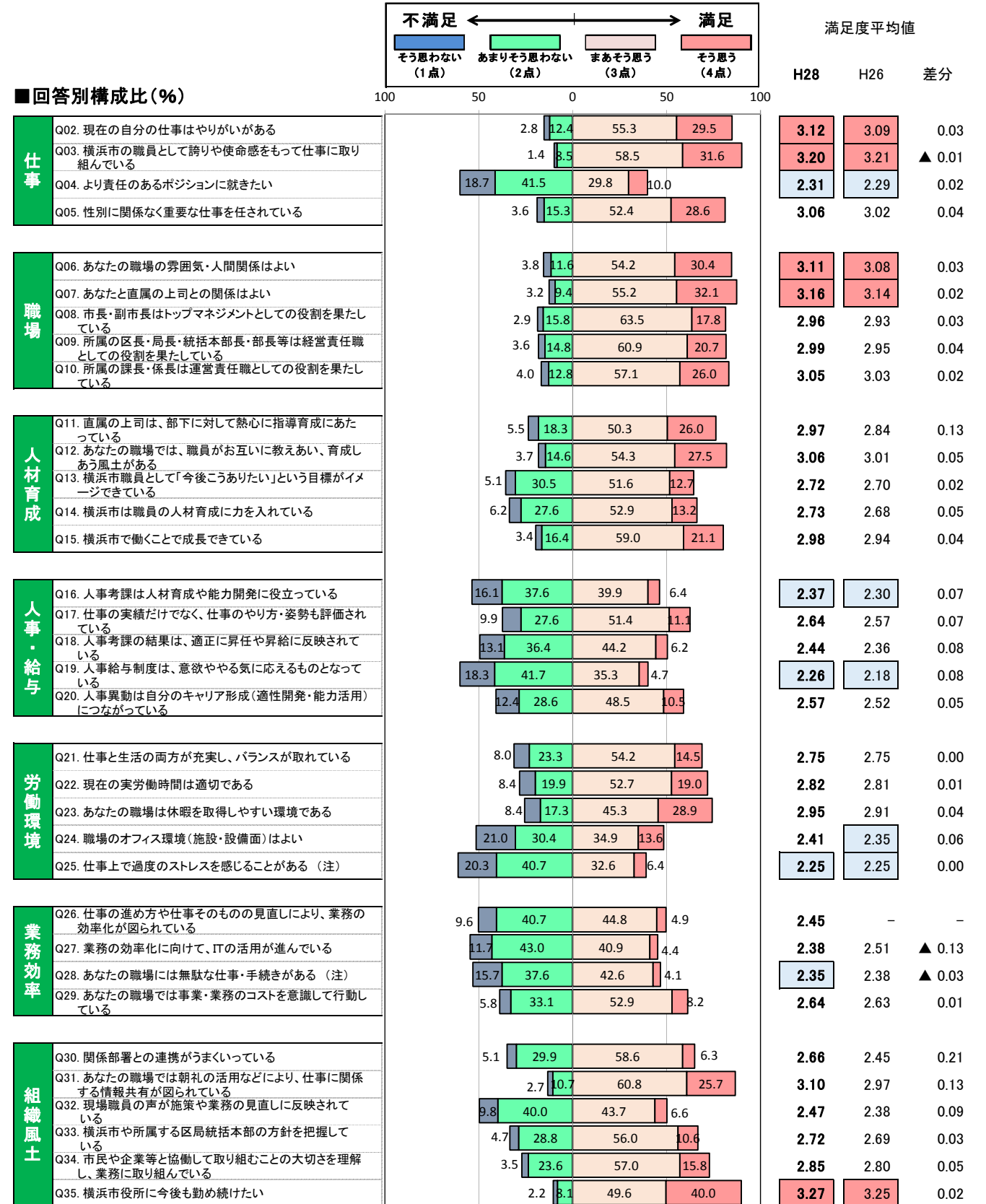
※「非常に不満」1点から「非常に満足」7点として加重平均 ※7点満点、中間点「普通」=4.00

## 3. 個別満足度

■ 結果概要	各設問の平均点は5つの項目を除き、前回調査より上昇している。特に「Q30.関係部署との連携がうまくいっている」は、+0.21点と大幅に上昇している。
■ 前回調査比較	(1) 満足度が特に上昇した設問 「Q30.関係部署との連携」、「Q11.上司の育成指導」、「Q31.職場内の仕事の情報共有」、「Q32.現場意見の施策や見直しの反映」、「Q18.人事考課の昇任・昇給への反映」、「Q19.人事給与制度による意欲向上」 (2) 満足度が低下した設問 「Q27.IT活用による業務効率化」、「Q28.職場の無駄な仕事・手続き」、「Q3.職員としての誇り」
■ 個別満足度水準	(1) 相対的に満足度の高い設問 「Q35.横浜市役所への勤続意向」、「Q3.職員としての誇り」、「Q7.上司との関係」、「Q2.仕事のやりがい」、「Q6.職場の雰囲気」 これら上位5設問は前回調査と同じ設問が入り、順位も同じであった。 (2) 相対的に満足度の低い設問 「Q25.仕事上のストレス」、「Q19.人事給与制度による意欲向上」、「Q4.責任のあるポジション希望」、「Q28.職場の無駄な仕事・手続き」、「Q16.人事考課の人材育成効果」

図表2. 個別満足度

※ 個別満足度は34の設問からなり、各設問は4点満点であり(中間点2.50点、「そう思わない(1点)」～「そう思う(4点)」の4つの選択肢から1つを回答)、今回調査の平均値は2.76点であった(平成26年度 2.73点)。



(注) Q25、Q28は、回答結果の数値を変換し、他の設問と同様、数値が高いほど項目の満足度が高くなるよう調整している。

例えば、Q25では、数値が高いほど仕事上のストレスは小さい。

構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります。